



一般社団法人
日本在宅薬学会



認証番号 P03

超高齢社会の地域医療は 要介護高齢者の薬物治療がメインとなる

～高まりつつある「在宅薬学」の重要性～

高齢化率が25%を超えた日本。2025年には団塊の世代が後期高齢者に入ることもあり、今後10年ほど日本の地域医療は大きく変わるはず。多くの患者さんが、ご高齢で介護を受けながらお薬による治療を受ける時代がもうすでに到来しています。

劇的に変わりつつある医療ニーズにきちんと応えたい。

その思いを胸に私たちは、現場に軸足を置きつつこれからの新しい医療連携の形を実践して参ります。

薬剤師の変革は医療崩壊への解の一つになる

薬剤師は医師の処方箋に基づき、正確・迅速に調剤し的確な服薬指導とともにお薬をお渡しするという業務に専念してきました。このような業務は非常に重要ですが、薬剤師の職能は不明瞭になりがちです。

一方、超高齢社会の地域医療という観点では薬剤師の職能は大きく広がります。今後は、一般の外来処方箋調剤、高齢者の在宅療養支援に加え、これらの経験を経て体得した知識や技術をもとにすれば、一気に増大する外来化学療法へ薬剤師が参画していけるはず。薬剤師のキャリアプランも豊かになっていくでしょう。

当会の活動が薬剤師の変革へとつながり、医療崩壊への解の一つとなることを確信しています。



一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長

はまけんじ
狭間 研至

在宅療養支援認定薬剤師制度

薬剤師としての知識、技能、マナーを高め、
共同薬物治療管理を実践できる薬剤師を目指す

次代を担う薬剤師の 知識・技能・態度を伸ばし更なる活躍を。

日本在宅薬学会では、2013年4月1日より在宅療養支援を行うすべての薬剤師の皆様に向けた認定薬剤師制度を開始しました。

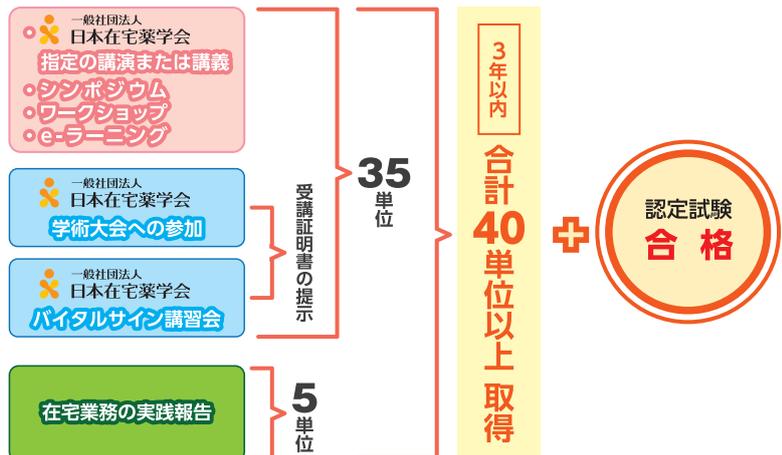
超高齢社会の到来を迎え変貌する社会医療ニーズに対応するために薬剤師としての知識、技能、態度の3項目を修得し、良質の医療を提供することを目的として、在宅もしくは、居住系施設で療養されている要介護高齢者の薬物治療、及び、がん患者さんに薬剤師の専門性を生かしたより良質な医療を提供し、社会的要請に応えるために、他の医療職種と情報共有を密にしながら、チーム医療の一員として、国民の保健・医療・福祉に貢献できる「認定薬剤師」を育成することが目標です。

一般の方も受講していただけますので、ご参加をお待ちしております。



認定要件

1. 日本国の薬剤師資格を有し3年以上の薬剤師実務経験があること
2. 薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度による認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師または日本医療薬学会認定薬剤師であること
3. 在宅業務の実践による5事例の報告を提出すること
4. 日本在宅薬学会主催の学術大会に参加していること
5. バイタルサイン講習会を受講していること



公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)より認証
薬剤師の方には日本在宅薬学会認定単位(P03)3単位が付与され、かかりつけ薬剤師の要件である、認定薬剤師申請の際に必要な他の日本
薬剤師研修センター(G01)や日本病院薬剤師会(P04)などと相互に
単位互換があります。*ただし、いずれか一つのみ単位は有効



申請に必要な参加証・認定証を紛失された場合再発行手数料2,000円が必要となりますのでご注意ください。

※日本在宅薬学会学術大会での単位の取得は、3年以内に上限7単位までとなります。

※日本在宅薬学会漢方セミナーでの単位の取得は、3年以内に上限9単位までとなります。

バイタルサイン講習会



全国各地の薬局・病院から
薬剤師が受講しています!



このままでいいのか、と思っていた。
でも、きっかけが見つからなかった。

バイタルサイン講習会では、そんな漠然とした気持ちを持つ薬剤師の方々の『薬剤師としての生き方』に劇的な変化を実感していただいています。フィジカルアセスメントを実践するツールとして、一人でも多くの薬剤師の方に受講していただきたいと思えます。

バイタルサイン講習会 お申込みはこちら

<https://jahcp.org/vital-signs/application/>

バイタルサイン講習会

検索



◆バイタルサイン講習会 基本構成

【基本内容】 ※開催時間は変更になる場合もあります

13:00 ~ 13:10 オリエンテーション(自己紹介)

13:10 ~ 15:00 講義 「薬剤師とバイタルサイン」
スライドを使用し、バイタルサインの意義や課題を説きます。
「バイタルサイン各論」
血圧・呼吸・脈拍・体温・意識レベル・尿量について、バイタルサインチェックの目的を入れながら講義を行います。

15:00 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 17:00 実技 ロールプレイ
(器具の使用法や測定方法)
バイタルサインの実技を行います。
実務指導者が手本を示し、受講者が聴診器や各項目のチェック方法をマスターするまで分かりやすく指導します。

17:00 ~ 17:05 理解度テスト

17:05 ~ 17:50 講義 「バイタルサインの本当の意義」

17:50 ~ 18:00 修了証授与

【受講料】

お一人様 ¥27,500(税込)

※理事長出張開催の場合は受講料が異なる場合があります

【持ち物・服装】

試験がありますので筆記用具をご持参ください。服装の指定は特にございませんが、聴診をしますので開閉しやすい服装でお越しください。

【提供資料・教材】

- ・バイタルサイン講習会講義資料
- ・書籍「できる薬剤師はバイタルサインをどうみるか」(南山堂/狭間研至著)
- ・書籍「外科医、薬局に帰る」(薬局新聞社/狭間研至著)
- ・居宅療養管理指導 関連書類のご案内
- ・聴診器(リットマン社製 または ケンツメディコ社製)

※万一在庫切れが発生した場合、ご希望の聴診器をご提供できない場合もありますのでご了承ください

インストラクター講習会 ディレクター講習会 エヴァンジェリストセミナー

日本全国でインストラクター、
ディレクター、エヴァンジェリストが活躍!

医療改革をすすめるための学びを深め、手技を熟知する。

バイタルサイン講習会を受講された方を対象に、次のステップとしてインストラクター講習会、ディレクター講習会を行っています。「教えることは最高の学びである」という理念に基づき、インストラクター講習会では、バイタルサイン講習会のインストラクターを育成しています。バイタルサインチェックを指導する上で必要な要点を正しく理解していただける内容となっております。インストラクター講習会を2回受講された方は、ディレクター講習会へご参加いただけます。講習会を修了するとディレクターと認定されます。ディレクターになるとエヴァンジェリストセミナーへの参加が可能となり、プレゼンテーション技能などを学び、自らバイタルサイン講習会を開催することができる「エヴァンジェリスト」としてご活躍いただくことができます。

エヴァンジェリスト —バイタルサイン講習会を、自分の手で。

バイタルサイン講習会の3段階のステップを修了すると、新たに設定された「エヴァンジェリストセミナー」への参加が可能となります。知識・技能を得たディレクターの皆様は「プレゼンテーションの技術」をお伝えし、より多くの皆様にバイタルサイン講習会でイノベーションを感じていただくために「エヴァンジェリスト」を目指していただきます。



◆3段階のステップアップとエヴァンジェリスト

step 1 バイタルサイン講習会

バイタルサインの意義を学び、実技実習も行います。聴診器や各項目のチェック方法をマスターするまで分かりやすく指導します。

step 2 インストラクター講習会

講義ののち、実際にバイタルサイン講習会のインストラクターとして実技指導していただけます。合計2回のインストラクター講習会を受講後、ディレクター講習会の受講資格を得ることができます。

step 3 ディレクター講習会

講義、実技復習、テストを行います。テストに合格すると「認定証」を授与され、ディレクターとなります。

Ex step. エヴァンジェリストセミナー

漢方セミナー

ベーシック漢方セミナー
漢方研究会
講師育成セミナー

在宅業務・店頭において、自信をもって
漢方薬の提案・推奨ができる薬剤師を目指す

漢方の基礎理論をはじめ、各生薬、
症状の原理や、基礎的な症例検討を学ぶ。

日本在宅薬学会の漢方セミナーでは、右の「日本在宅薬学会一貫堂漢方セミナー」体系図の通り、「ベーシック漢方セミナー」「漢方研究会」「講師育成セミナー」と3つのクラスに別けています。漢方について初めて触れるような方でも、症例検討を重ね薬局現場で使える漢方薬の処方提案の実践力を磨くことが出来ます。各セミナーの詳細はHPをご覧ください。

◆「日本在宅薬学会一貫堂漢方セミナー」体系図



ベーシック漢方セミナー

一貫堂漢方の全体像を知る
一貫堂漢方の基礎理論を初め、
各生薬、症状の病理や、基礎的な
症例検討を学ぶ

一貫堂漢方のカリキュラム

- 3つの体質～瘀血・瀉剤～
- 理気剤・補剤 ● 感冒編
- 胃腸編 ● 総集編

基礎固め(2年)



漢方研究会

薬局現場で使える実践力を磨く
様々な症状の症例検討を重ね、
薬局現場で実際に処方提案
できるまでの力を身につける

漢方研究会会長 狭間紀代による講義

漢方研究会会長 狭間紀代の講
義を詳しく繰り返し学ぶことで、
さらなる知識を身につける



講師育成セミナー

次代の漢方薬剤師を育てる講師
症例検討を深め、漢方研究会会長
が受講資格を認めた者に、次代の
漢方薬剤師を育成できる力を身に
つける

特別な講義

漢方研究会会長による、
漢方講師になるための特別講義



学術大会

全国から医療従事者が一堂に会する学びの場!

医療人が一堂に会し、実践に向けた学びを共有する。

日本在宅薬学会では、医療に従事するさまざまな職種の方々が共に集い、情報共有を行う学びの場として、学術大会を年に1回開催しております。名だたる先生方による講演が行われ、医師、薬剤師、看護師、介護士などさまざまな職種の医療従事者が全国から集まります。講演後の懇親会では、参加された全ての方々が交わって情報や未来の医療への想いを共有され、会場は大変な熱気に包まれます。

当学会員専用の「e-learning」では、これらの講演の一部を動画として配信しております。当日ご参加いただけなかった方も、閲覧することが可能です。



日本在宅薬学会学術大会 特設サイトはこちら

<https://congress.jahcp.org/>

日本在宅薬学会学術大会

検索



薬局パートナー制度

薬局パートナーを活用し、 薬剤師が患者をみる環境を構築する

薬局パートナーは薬剤師の 時間と体力と気力の創出を行う。

現在、我が国の高齢化率は27%を超え、今後ますますこの傾向は強まっています。2025年には高齢化率が30%を超えると予想され、日本の医療形態も医療機関から在宅・介護施設へとシフトしてきています。2015年に厚生労働省から示された“患者のための薬局ビジョン”を実現するためには、薬剤師が薬を飲んだあとの患者の状態を把握すること、患者の状態を薬学的にアセスメントし改善策も含めて医師にフィードバックすることなど、薬剤師が患者をもっとみられる環境の構築が重要であると考えられます。

そこで、生まれたのが、薬剤師をトータルに支える『薬局パートナー®』です。

薬局パートナーは、薬剤師の本質的業務以外を担い、薬剤師が対人業務に専念する時間・体力・気力の創出を行います。安全性を担保しつつ、薬局パートナーを活用し、薬剤師が患者をみる環境を構築する。その結果として薬物治療の質的向上を図り、患者さんに健康をお届けすることができる、これこそが薬局パートナー制度設立の目的です。



◆薬局パートナー制度のノウハウを身に付けるための各種セミナー

① 薬局パートナー部会セミナー 対象：薬剤師、非薬剤師、薬局経営者

薬局パートナー制度の総論、方向性や考え方、導入のノウハウを学ぶためのセミナーです。
講義とフリーディスカッション、参加者からそれぞれに明日から取りかかろうことを発表していただいたあと、講師より正しい導き方を具体例を挙げてお話をさせていただきます。

② 薬局パートナーセミナー 対象：非薬剤師（調剤事務員）

薬局パートナー業務の知識、技術およびマインドを学び薬局パートナー検定の合格を目指します。
在宅業務に関わっていない薬局、非薬剤師も「薬剤師が外来業務で患者をみる」ことが出来るように素晴らしい薬局パートナーを目指して頂きたく、どなたでも受けることができるセミナーとなっています。

③ パートナー e-Learning 対象：非薬剤師（調剤事務員）

25のカリキュラムから「社会人マナー編」「基礎知識編」「在宅業務①」「在宅業務②」の4つのフェーズを段階的に学びます。初めて薬局パートナーの業務を学ぶ方や、社員研修に薬局パートナー教育を取り入れる薬局様でも薬局パートナー制度を体系的に理解し、学ぶことができます。

その他様々なセミナーをご用意しておりますのでHPをご覧ください。

薬局パートナーシンポジウム

地域包括ケアの実施、拡充が進められる中、薬剤師もチーム医療の一員として在宅現場に出て、多職種と協業することが強く求められています。このシンポジウムでは、薬剤師だけでなく既に現場で活躍している「薬局パートナー」にも登壇していただき、その業務の実際や今後の展望などについても考えていきます。



e-learningサービス

薬剤師のスキルを伸ばし 単元を系統立てて効率よく学ぶ

いつでも、どこからでも薬剤師のための動画を見放題

e-learningで配信される動画は在宅療養支援認定薬剤師資格取得のためだけではありません。パソコンとインターネット回線さえあれば、いつでも、どこからでも薬剤師の生涯研修に役立つ動画をご覧いただくことができます。

会員専用無料コンテンツで 一流の医学・薬学を効率よく学ぶ。

執筆・講演活動などで精力的に活動される先生方の講義を、1対1で受けられます。

系統立てたコンテンツをご用意しており、本会独自の在宅療養支援認定薬剤師資格取得に必要な知識ばかりなので、どんな薬剤師でも生涯学習の一環としてスキルアップを目指せます。他のe-learningよりも少し長めの時間設定なので講義を細切れで見るとはならず、集中して一気に学ぶことができます。一度に見られなくても、受講状況が記録されますのでいつでも続きから学習が可能です。





一般社団法人

日本在宅薬学会 入会のご案内

本当の地域医療を学ぶ。本当の地域医療を伝える。

当学会は、薬剤師の職能拡大・薬局の機能拡張を通じて、多職種連携・情報共有を基盤とした超高齢社会における新しい地域医療システムを構築し、広く社会に貢献することを目的として設立されました。

日本における地域医療の早期整備に向け、学術大会、各種講習会、e-learningサービスを活用した学びの場を設けておりますので、あらゆる職種の医療従事者の方の参加をお待ちしております。

会員限定、6つの特典!

会員特典 1

当学会の主催する学術大会、各講習会などに、優先的に予約をお取りいただけます。優先予約枠だけで満席になる人気の講習会等に、より参加しやすくなります。

会員特典 2

当学会の主催する学術大会、各講習会などに、一部会員優待価格でお申し込みいただけます。過去の学術大会では一般価格より3割程度の割引となっております。

会員特典 3

メーリングリストでは、医学・薬学の最新情報を定期的に配信しております。医療従事者として見逃さないニュースを簡単にチェックすることができます。

会員特典 4

無料のe-learningサービスをご利用いただけます。数も、質も充実した医療コンテンツで、皆様の学びを徹底的にサポートします。

会員特典 5

医中誌webをご利用いただけます。医中誌webは、国内の医学、歯学、薬学およびその周辺分野の論文情報の検索サービスです。学会誌「在宅薬学」へのご投稿等、論文作成などにご活用ください。

会員特典 6

薬局パートナー通信をご利用いただけます。薬局パートナー制度の導入にご活用ください。

年会費・入会方法について

会員区分	職種	入会金	年会費
正会員	薬剤師・医師 歯科医師・看護師	無料	10,000円
	上記以外の職種		5,000円
学生			1,000円

※入会期間はご入金いただいた月から12ヶ月間となります

日本在宅薬学会へのご入会はHPから!



<https://jahcp.org/>

日本在宅薬学会

検索



一般社団法人 日本在宅薬学会

組織名称 一般社団法人 日本在宅薬学会

理事長 狭間 研至

設立 2009年12月22日

目的 当学会は、薬剤師の職能拡大・薬局の機能拡張を通じて、多職種連携・情報共有を基盤とした超高齢社会における新しい地域医療システムを構築し、広く社会に貢献することを目的とする。

活動

- 在宅療養支援に関する薬剤師の教育
 - 在宅療養支援に必要な薬剤師教育プログラムの開発と施行
 - 高齢者医療・高齢者介護施設や在宅療養時に必要な、実務・医学的知識・関連法規・接遇マナーに関する教育の開発と実施
 - 「在宅療養支援認定薬剤師制度」の発足と充実
 - 当学会の講習を修了した者を「在宅療養支援認定薬剤師」と認定する事を目指す
- 在宅療養支援を行うための環境の整備
 - 居宅療養管理指導に必要な書類などの統一フォーマットの策定
 - 厚生労働省指導のもと、薬剤師が居宅療養管理指導を行う際必要となる、手続きや書類の考案・作成
 - 行政・薬業界への情報発信
 - 6年制薬学教育カリキュラムに含まれる在宅関連業務に関する教育内容提案
 - 長期持続可能な経営スキームの策定

事務所所在地

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-5 アドバンス天神橋3F TEL : 06-4801-9566 FAX : 06-4801-9556

事業

- 在宅療養支援認定薬剤師の育成及び認定
- 在宅療養支援に必要な薬剤師等への教育事業及び教育プログラム開発事業
- 薬剤師等医療関係者を対象とした在宅療養支援について行う研修会、講演会及び学術集会の開催ならびに学会誌の査読、編集、発行
- 薬剤師が行う在宅療養支援業務に関するコンサルティング事業
- 在宅療養支援に関し、薬剤師、各種行政機関関係者、各種医療関係者を対象としたネットワークの構築及び普及啓発活動
- 地域医療における多職種連携を促進するための各種行政機関関係者、各種医療関係者との交流活動
- 在宅療養支援を支えるICTインフラの整備と活用に関する研究・開発事業
- 在宅療養支援に関し薬剤師の果たす役割について紹介する広報活動
- お薬カレンダーの企画、制作及び販売
- その他当法人の目的を達成するために必要な事業